



幼稚部生活のしおり

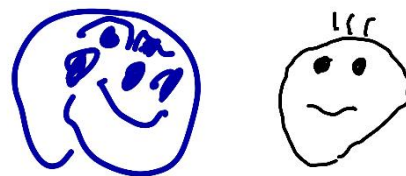
2026年02月更新



本幼稚園は、1970年(昭和45年)1月、在マレーシア邦人子女のための『日本語による就学前教育施設を』という強い要望により開設されました。

幼稚園教育要領の第1章第1幼稚園教育の基本「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園教育は、学校教育法に規定する目的及び目標を達成するため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする」に基づいた教育を展開しています。

※幼稚園教育要領とは文部科学省が告示する幼稚園における教育課程の基準



幼稚園教育目標

幼稚園では学校教育目標である「たくましいからだ、ゆたかな心、優れた知性と国際性を備えた児童・生徒の育成」を受けて幼稚園教育目標を設定しました。

心豊かで誰とでも仲良くできるたくましい子ども

めざす園児像

- 思いやりがある子ども（心豊か）
- 素直に表現できる子ども（誰とでも仲良く）
- 友達と仲良く遊べる子ども（たくましい子ども）

大まかな一日の流れ（時期や年齢、カリキュラムの内容によって変化します）	
9:10~30	<ul style="list-style-type: none">●登園・身支度 AraDamansara エリア1便、Mont Kiara エリア2便、バスが出ており、その他自主送迎で子どもたちが登園してきます。 全員が揃うまで、室内で自由あそびや、朝の会の前にじっくりと戸外遊びを楽しみます
10:00頃	<ul style="list-style-type: none">●朝の集まり おけいこ（行わない日もあります）
10:30	<ul style="list-style-type: none">●カリキュラム及び自由あそび 音楽、運動、EC、IS、図書、戸外遊び、室内遊び、ゲーム、製作など、毎日一斉活動として行うカリキュラムがあります。
12:15	<ul style="list-style-type: none">●昼食 手作りお弁当を食べます
13:40	<ul style="list-style-type: none">●帰りの集まり その日一日を振り返り明日への期待を膨らませたり、絵本を読み聞かせたりしています。
14:00	<ul style="list-style-type: none">●降園

園生活について

① 保育時間

9:10~14:00

- ・自主送迎の方の登園時間は**9:10~9:30**、降園時間は13:50~14:00です。
- ・早めに着いた場合は、9:10までお子さんとバスベイにてお待ちください。(入室できません)

② 休園日

土日、マレーシアの祝日、学校が定めた日

夏季休暇(7月下旬~8月下旬)、冬期休暇(12月下旬~1月上旬)、春季休暇(3月中旬~4月中旬)

※長期休暇の期間は目安です。細かい日程は、年間予定をご覧ください。

③ 忌引き

両親→7日、兄弟姉妹→5日、祖父・祖母→3日、曾祖父母・叔父・叔母・伯父・伯母→1日

③ 欠席連絡

- ・欠席される場合は、BLENDにて**8:00まで**に必ずご連絡ください。
- ・あわせて欠席理由(病気、怪我、家事都合など)もお知らせください。
- ・欠席によりバスを利用しない場合は、バス会社へ連絡も忘れずをお願いします。(サウジャナ アマヤを除く)
連絡の方法については、通園バス手引きの例に従い、連絡をしてください。

④ 代理送迎

- ・降園時に保護者以外の方が迎えに来る場合は、誰が迎えに来るのかを事前にお知らせください。
園への連絡がない場合、防犯対策上引き渡しすることができません。

※急遽お迎えを知り合いの方に依頼される場合は、必ず依頼する保護者ご本人が幼稚園に電話を入れてください。

⑥ 服装

- ・制服はありません。運動しやすく「自分で着脱できる」「排せつの時に自分で扱える」「汚れてもよい」服装で登園してください。(Tシャツ、短パン又はズボン、スパッツ、キュロット等)

⑦ 髪型

- ・目やフェイスラインに髪の毛がかからないよう、長い髪は結びましょう。
- ・髪を結ぶ際は、帽子が着脱しやすい髪型をお願いします。
- ・また、飾りのない髪用ゴムを使用してください。帽子をかぶることに苦戦したり、転んだ時やぶつかった時に、髪飾りの堅い素材やとがった部分で怪我をしたりすることを防ぐためです。
- ・髪飾り(飾りのついている髪用ゴム・カチューシャ・バレッタ・シュシュ・ピン止め等)は、使用不可とします。
- ※おしゃれをしてきてもよい日は、髪飾りを使用しても構いません。大きさ、形、素材にはご配慮ください。

⑥ 来園時について

- ・入構許可証(ピンクカード)を携帯してください。(入園時に各家庭に1枚配付)
なお、休校(園)日は、ピンクカードでは入構することはできません。別途手続きが必要です。

⑤ 自家用車、タクシーの乗り入れについて

- ・園より配付しておりますカーステッカーを、フロントガラスの見えるところにお貼りください。
ステッカーの無い自家用車は安全管理上、乗り入れできません。(入園時に各家庭に1枚配付)
- ・タクシー(Grab等)の乗り入れについて、園児・児童・生徒が一緒の場合は、必ず保護者が同乗して、入構してください。



教育活動、カリキュラムについて

幼稚部では、毎日たくさん遊び、モノやヒトと出会い、向き合う中で、考える力、生きる力を養えるよう、教育活動を進めています。【できるようになる】ということが目標ではなく、様々な経験をする中で、その中で楽しい！やってみたらできるようになった！経験が重ね、3年間の繋がりある教育を目的とし、カリキュラムに沿って保育を行っています。

1、運動

近年運動能力の低下が叫ばれていますが、幼稚部では子どもたちの日常の遊びのきっかけやヒントになる身体の使い方、集団遊びのルールへの提示や確認なども含めて、楽しく身体を動かす機会を増やすきっかけとなることを目的とし運動を取り入れています。東グラウンドや東体育館を優先的に使える時間です。



2、IS(プール) Immersion Swimming (年長・年中)

<年少組> 幼稚部の水遊び場(きこのプール)を利用して水遊びをし、水に親しみます。

<年中長組> 東プールを使用して、外部の水泳指導のコーチと水に親しむ活動を行います。

Immersion とは、未修得言語を身につける学習方法のひとつで、英語の「Immerse (浸す)」が語源です。「その言葉に浸りきって修得する」という意味です。幼稚部では、マレーシア人のコーチに加え、担任も指導を行っています。

年少組 ねらい

1. 水に親しむ。
2. 水遊びの楽しさを味わう
3. プールの約束を知り 安全に活動する。

年中組 ねらい

1. 水に親しむ。
2. 友だちといっしょに水遊びを楽しむ。
3. プールの約束を知り 安全に活動する。

年長組 ねらい

1. 水に親しみ、プールでの活動を楽しむ
 2. 一人で泳ごうとする気持ちを持ち、挑戦してみる
- プールや水遊びの約束を守り 安全に活動する



○注意事項

- ① 健康観察を十分に行い、体調の悪い日はプール活動や水遊びに参加しないようにしましょう。
- ② プールカードに必要事項をご記入いただき、プール活動・水遊びの日は必ず持たせください。
- ③ 安全管理のため、全学年プールカードに印、記入漏れがあるとプールに入れません。
- ④ 手足の爪は短く切りましょう。
- ⑤ 耳あかを取り、清潔にしておきましょう。
- ⑥ 髪の毛の長い人は、水泳帽をかぶりやすいように髪の毛を結んでみましょう
- ⑦ アタマジラミが発症した場合は、駆除が確認されるまで(約2週間) プール活動の参加はご遠慮ください。
- ⑧ とびひの場合、参加はご遠慮ください。
- ⑨ 水イボは、医師にご相談ください。状態によっては参加できない場合があります。
- ⑩ トイレトレーニングが終了していない場合は、水遊び活動やプール活動に参加できません。



※天候、気温、水温により中止や変更の場合もあります。※実施予定は幼稚部だよりでお知らせします。

3、図書

<年中・年少> 幼稚部の「絵本の部屋」を利用します。**返却は、次の図書の日**です。

<年長組> 幼稚部の「絵本の部屋」、学校の「図書室」を利用して貸出をします。

本を忘れると、次の本を借りることが出来なくなります。**返却は、次の図書の日**です。

※本を紛失した場合は、同じ本を購入していただきます。紛失、破損の場合は直ちにご連絡をしてください。

4、EC

年中、年長組は小中学部 EC ティーチャーによる英語に親しむ活動を取り入れています。

※年少組は日常の生活の中で英語に親しむ関わりを取り入れています。



5、音楽

歌やリズム遊びなど、音楽の楽しさを友だちと一緒に味わうことをねらいとし、カリキュラムを組み立てています。

それぞれの年齢に合わせた、リズム遊びや歌、鍵盤ハーモニカなどの楽器を使って活動し、友だちと心を通わし合い、音を奏でる楽しさや心地よさを感じられるような活動を進めています。

6、製作

絵を描くことを楽しんだり、ハサミ、のり、クレヨン、絵の具、折り紙など、さまざまな道具や素材に触れながら表現活動に取り組めるよう、活動を取り入れています。製作の中で、日本の四季やマレーシアの行事に触れられるよう工夫しています。

7、おけいこ

えんぴつの持ち方、運筆、数量や図形、標識や文字などを楽しく学び時間を【おけいこ】と呼び、週に数回取り入れる中で、イスに座って集中する時間が持てるよう、発達年齢に合った活動を行います。最終的な目標はありますが、ドリルや習熟度などはなく、その時々の子どもたちにあった内容を選んだり、折り紙やハサミを使った活動を取り入れたりしています。

8、異年齢児保育 (ボレ保育)

異年齢の友だちとの活動を通し、交流を深めていきます。異年齢での関わりを通して、年下の友だちへの関わり方や思いやりの心、譲る心、年上の友だちへの憧れなどを育める時間となるよう計画しています。



9、誕生会

子どもたちにとって、誕生日は一つ大きくなる喜ばしい日です。そのうれしい気持ちを、友だち、教職員、保護者の方とみんなでお祝いできるよう、2カ月に1度、誕生会を開催しています。

※お子さんの該当誕生月の誕生会には、保護者の方にも参加していただいています。

※園児は、昼食時におやつを食べます。



持ち物について

毎日の園生活に必要な持ち物

以下が毎日必要な持ち物です。忘れ物のないよう、お願いいたします。

2. 通園リュック
- ・毎日の持ちもの(弁当 水筒 着替えなど)が入る、大きめのものをご準備ください。
 - ・大人が出し入れしてピッタリのサイズのもは、子どもには扱えませんが、余裕のあるサイズのものでお願いします。
 - ・キーホルダーをつけないでください。トラブルの原因となることが多いためです。



3. お弁当
- ・幼稚園は原則としてお弁当を持たせてください。
 - ・弁当箱、スプーン、フォーク、年齢や使える場合は箸、ランチョンマット、弁当袋を準備してください。
 - ・弁当袋は、自分で取り扱いができて、出し入れしやすいサイズのもの。年長はナブキンで包んでも可
 - ※デザートとして、おやつ類（ドーナツ、チュロス、マフィン）などは不可です。（果物、ゼリーは可）
 - ※ゼリーを持たせる場合は、自分で開けられるよう、工夫して持たせてください。



4. 水筒
- ・たっぷりと水分補給をするよう指導していますので、水かお茶を満水にしてください。
 - ・水筒が肩にかけられるよう紐つきのものをお願いします。
 - ・中身が無くなった場合は、園で補充します。
 - ・水筒を忘れた場合は、ペットボトル入りのミネラルウォーター（500ml）を貸与します。
- 後日、同量の新しいものを持たせてください。（メーカーは不問）



7. おたより帳
- ・登園初日に園より配付しますので、持ち帰りましたら、記名をお願いします。
 - ・毎月末にお預かりして出席日数を集計し、記入します。確認して捺印またはサインをしてください。
 - ・日本の商品を使用しているため、記載されている予定や祝日は変更になる場合があります。

<連絡欄について>

ご家庭からの担任への連絡は、おたより帳の連絡欄をご利用ください。その際、必ず日付を記入するようにしてください。確認し、印鑑にて返信をさせていただきます。返事が必要な場合、電話またはメールにてご連絡させていただきます。

8. 連絡袋
- ・登園初日に園より配付しますので、持ち帰りましたら、記名をお願いします。
 - ・おたより帳を入れ、毎日持たせください。
 - ・本園からの手紙などは連絡袋に入れて持ち帰ります。降園後は必ず中を確認してください。
 - ・ご家庭からの提出物、買う弁代金を持たせる場合は、連絡袋にいれてください。



6. 着替え

①着替え：毎日持参 巾着袋に入れて、ひとまとめにしてリュックに入れてきてください。

- ・ビニール袋（汚れたものを入れるため）
- ・肌着、（必要に応じて）パンツ
- ・靴下
- ・着替え（Tシャツ、短パンなど）
- ・赤白帽子等 帽子

着替え袋に入れて持たせください。

※汗をかきやすいお子様はTシャツなど、多めに持たせください。



②置き着替え：巾着袋に入れてひとつにまとめ、教室に常備しておきます。

毎日持参する着替え袋の中に無かった時や使い切ってしまった時に、こちらから使用します。

- ・ビニール袋
- ・肌着（必要に応じて）、パンツ
- ・靴下
- ・運動しやすい服装（Tシャツ、短パンなど）
- ・予備帽子（あご紐のついているもの）
- ・予備の手拭きタオル



※使用した場合は、メモを持ち帰りますので、必ず翌日補充できるように持たせてください。

※園に置いてある下着をすべて使用した場合は、園の新品のパンツを履きます。

その際は、同様のサイズの新品のものを返却してください。

1. 運動靴

- ・思いっきり走っても脱げない足のサイズに合ったもの（サンダル類は不可）
- ・サイズが大きい場合は中敷きなどで、サイズの調整をお願いします。
- ・光るもの、音の出るものは不可です。また、長靴やサンダルで登園した場合、戸外遊びをすることができません。

9. 上履き またはそれに代わる室内履き・上履き袋

- ・靴底は白いものをお願いします。
- ・サイズが大きい場合は、中敷きなどでサイズの調整をお願いします。
※上履きは週の初めに持たせてください。週末に持ち帰ります。
- ・上履き袋は、上履きが出し入れしやすいサイズのもの。



9. 赤白帽子またはカラー帽子等

毎日の戸外遊びや校内散策の際に使用します。「運動」のカリキュラムの際には赤白帽子を使用します。その他の曜日とはどのような帽子をかぶっていただいても構いません。（全在籍園で使用していたカラー帽子等も可）

- ・毎日持たせください。汗をかくので、毎日持ち帰ります。
- ・帽子が脱げないようにあご紐ゴムの確認をしてください。
- ・帽子の前に白い布で（縦5cm×横12cmくらい）平仮名で名前を記入してください。赤白両方に書いてください。

赤

白



5. ループ付きタオル（教室用とトイレ用で計2枚）

※年長は、年度途中よりハンカチへと移行します。



5. コップ・コップ袋

・コップを出し入れしやすいサイズの袋に入れて持たせてください。

7. ティッシュ

ポケットまたは通園バックに入れてください。



8. 手提げかばん

- ・絵本や作品、絵本を入れて持ち帰ります。持ち帰りましたら、翌日必ず持たせてください。
- ・持ち帰るものがない場合は、ロッカーにおいて保管します。（大きさの目安：縦30cm×横40cm）

12. マスク

ジッパー付きの袋に1枚入れてリュックの中に入れておいてください。

※ヘイズの値が高い時や体調不良の際に使用します。



<その他>

- ・はさみ ⇒ 先の丸まったお子さんの手に合ったサイズの物をご準備ください。キャップはなくても構いません。
- ・のりの手拭きタオル⇒のりを使用した時に手を拭くタオルとして、小さいハンドタオルの準備をお願いします。
- ・鍵盤ハーモニカ（年長児のみ）⇒3月ごろ、紀伊国屋さんで割引販売になることがあります。園で保管しますので、きょうだいで1台を使いまわすことはできません。
- ・唾拭きタオル（年長児のみ）⇒鍵盤ハーモニカ使用時に唾をふくためのタオル（ハンドタオルサイズ）。
- ・ビーチサンダル ⇒ 砂場やプールへの移動時に使用します。手提げ付きビニール袋に、足ふき用のタオルと一緒にに入れて持たせてください。（記名必須）
- ・雑巾2枚（無記名）⇒入園、編入、進級時に持たせてください。
- ・遠足時⇒レジャーシート、おしぼりが必要になります。



<お願い>

- ・すべての持ち物に記名をしてください。（下着、靴下、ビニール袋など）
- ・色鉛筆やクレヨン、一本一本に記名をしてください。
- ・お子さん自身が自分の持ち物がわかるようにしてください。（マークや印をつけても結構です。）
- ・毎日の通園準備は、お子さんと一緒にしてください。お子さん自身が一人でできるようになった場合も、**保護者の方が最終確認をお願いします。**
- ・不要なもの、高額なものは、無くなって困るもの等は登園時には持たせないよう、お願いいたします。
- ・家庭で購入したものや作ったものを保育時間中にプレゼントしあったり、降園後に遊んだ際の忘れ物をバスの中子どもを通して届けたり、保育時間中にプレゼントし合うことはトラブルの原因になります。プレゼント交換や、不要物、高額なものを持ち込むことは、おやめください。

その他園生活に必要な持ち物



ラップタオル



1. プール道具 毎週指定された曜日に、以下のプール道具を持たせてください。

- ① 水着：シンプルなデザインで、自分で着脱できるもの。ビキニタイプは不可。
- ② ラッシュガード：着用は自由。ただし、フードつきのものは不可
- ③ 水泳帽：頭によくフィットし髪の毛をまとめられるもの。シンプルなデザインであれば指定なし

※自分でかぶれるようにご家庭でも練習をお願いします。

※ローマ字で名前を記入してください。

- ④ ゴーグル：個々に合わせて調節し、自分で装着できるように練習をお願いします。
- ⑤ ラップタオル（ゴム付き）
- ⑥ プールバック
- ⑦ プールカード

タオル・ゴーグル・水泳帽は衛生上、貸出しはできません。
忘れた場合、見学になります

※プールの際、水泳帽の中に髪の毛を全部入れます。髪の毛が長い場合は、髪の毛をまとめてきてください。

※爪を切ってください。（プール時だけでなく、安全面・衛生面から定期的をお願いします。）

2. 体操服 運動のカリキュラムがある日は体操着、紺のハーフパンツを着用して登園してください。

3. 学校指定ポロシャツ 式典や遠足等、幼稚部が指定するに着用します。

4. 民族衣装やおしゃれ着 七夕・中秋節・ディパバリ、中国正月などの日本やマレーシアの伝統文化に触れる行事の際に着用します。



・「自分で着脱できる」「排せつの時に自分で扱える」服装であれば指定はありません。

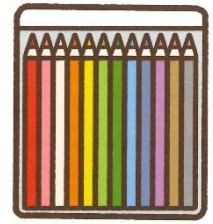
・子どもたちに『おしゃれしていい日』という言葉で伝えています。

・特別な日の着替えは、運動しやすい服装のものをご用意ください。※P4 8. 着替えの項目参照

教材の配付・実費徴収について

・入園時に配付する教材は以下のとおりです。(入園・編入時は無料です)

おたより帳	粘土
クレヨン	粘土ケース
連絡袋	自由画帳
のりの手拭きカップ	色鉛筆 (年中・年長)



※配付教材(クレヨン、色鉛筆、のりの手拭き用カップ、じゆうが帳など)の補充や交換は、それぞれ同じようなものを各ご家庭でご用意ください。

※のりの中身は園で補充します。のりの入れ物がない方は、ご相談ください。



個人教材 価格一覧

令和6年(2024年)5月現在

教材名	価格(円)
粘土	6.00
連絡袋	6.00
おたより帳	22.00
のり	9.00

- ・左側の表の教材については、必要に応じて園で販売いたします。ご希望の場合は担任までお知らせください。
- ・支払い方法については、担任よりお知らせします。
- ・日本製品の為、その時のレートによって価格が変動する場合があります。ご了承ください。



買い弁について

幼稚園では、年長組は週に1回、年中・少は1か月に2回、指定の業者から食べ物を購入する【買い弁】という日があります。

買い弁利用方法

年中・少：ネットにて注文⇒当日に代金(おつりなし)と注文一覧表(別日に配布)を持って来る

年長：ネットにて注文⇒当日、代金を財布に(おつりなし)、注文一覧をおたより袋に入れて持って来る

※メニューは、買い弁開始時に幼稚園用メニュー表を配信しますので、参照してください。

※価格変更がある場合、一斉メールにてお知らせします。

※注文用紙の記入漏れ 間違いのないようご注意ください。

※当日、やむを得ず欠席の場合、保護者の方が直接業者にキャンセル連絡を入れてください。

保護者の買い弁利用

- ・来校時に利用できます。
- ・事前に注文した場合は、業者の販売準備ができると(12時過ぎ頃)購入できます。
- ・注文していない場合、残りがあれば12:20以降に購入できます。



保健について

1, 活動中に体調を崩した場合

- ・原則として体温37.5℃で保護者に連絡をします。お迎えをお願いします。(バスには乗車できません)

2, 活動中の怪我などの対応について

- ・病院での処置が必要と思われる場合は保護者に連絡し、園または病院に来ていただきます。
 - ・緊急の場合は保護者に連絡した上で搬送をしますが、必ず病院に来ていただきます。
- ※保護者の立ち合いがないと病院での処置ができないためです。



3, 虫よけ・日焼け止めについて

- ・必要に応じて登園前に塗ってきてください。(リング式、スプレーは不可)



4, 学校感染症による出席停止について (登園許可届は12ページにあります。)

幼稚園において予防すべき疾病については「学校感染症」として定められており、学校保健安全法第19条の規定により、「出席停止」となります。お子さんが学校感染症にかかった場合には、医師から登園可能と言われるまで自宅で療養し、完全に治癒してから登園をお願いします。参考までに学校保健安全法に定められたものを付記します。

	感染症名	出席停止の期間の基準
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルク病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARS コロナウイルス)、中東呼吸器症候群(MERS コロナウイルス)、鳥インフルエンザ(H5N1)、新型コロナウイルス感染症	治癒するまで ※新型コロナウイルス感染症の出席停止期間は、令和6年2月1日現在、5日間です。
第2種	インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1)を除く)	発症した後5日を経過し、かつ、幼児は解熱した後3日を経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹(はしか)	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎(おたふく)	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風疹(三日ばしか)	発疹が消失するまで
	水痘(みずぼうそう)	すべての発疹が痂皮化(かさぶた)するまで
	咽頭結核熱(プール熱・アデノウイルス)	主要症状が消失した後2日を経過するまで
	結核	感染のおそれがないまで
髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで	
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、出血性結膜炎、その他の感染症【溶連菌感染症、ウイルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑(りんご病)、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、流行性嘔吐下痢症等]	病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで

<感染症及び出席停止の期間の基準（出席停止は欠席にはなりません）>

※出席停止の期間については、症状により医師が感染のおそれがないと認めた時はこの限りではありません。

※病気が治り登園する際には、「登園許可届」を保護者ご自身でご記入いただき、**担任まで提出**してください。

ただし、病気の状況によっては医師の証明書を提出していただく場合もあります。

※許可届がないと、迎えに来ていただく場合もあります。



<インフルエンザの出席停止期間について>

最近のインフルエンザの治療については、抗インフルエンザ薬の効果で、ウィルスが体内に残っていても熱が下がるようになりました。そのため解熱後3日を経過しても感染力があり、他者へ感染する可能性があります。つきましては、以下の出席停止期間をしっかり守り、回復に努めていただきますようお願いいたします。

インフルエンザ発症時の出席停止期間は

発症した後5日を経過し、かつ園児にあっては解熱した後3日を経過するまで

なお、インフルエンザで学校を休んだ場合、出席停止となり、欠席にはなりません。以下の「出席停止期間早見表」で「出席可能」の日を確認し、登園するようにしてください。

また、登園の際には「学校感染症による出席停止について（お知らせ）」の下にある登園許可届を切り取って、担任まで提出をお願いいたします。

【出席停止期間早見表】 ☹ 発熱あり ☺ 発熱なし

発熱期間	0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目
1日間	☹	☺	☺	☺	☺	☺	出席可能		
2日間	☹	☹	☺	☺	☺	☺	出席可能		
3日間	☹	☹	☹	☺	☺	☺	出席可能		
4日間	☹	☹	☹	☹	☺	☺	☺	出席可能	
5日間	☹	☹	☹	☹	☹	☺	☺	☺	出席可能

《登校・登園 許可届》

保護者記入用

クアラルンプール日本人学校長殿

幼・小・中 学部 年 組 氏名

1 病 名 _____

2 発症日【令和 年 月 日】

出席停止期間【 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 】

3 医療機関名 _____

上記のとおり、出席停止の期間基準を経過し回復しましたので登校させます。

令和 年 月 日

保護者氏名 _____ 印

(サイン可)

☆薬を持っでの登園について (お願い)

教員による与薬 (薬を飲ませたり、塗ったりすること) は原則として医療行為にあたる為、直接行うことはできません。

医師の指示の基、やむをえず、幼稚部内で教員による服薬の介助が必要な場合は、医師からの指示書「与薬依頼書 (預かり薬)」の提出をお願いします。指示書に従って服薬の介助を行います。

※病院で薬を処方される場合は「朝・夕」1日2回の与薬 (投薬) を相談してみてください。

※薬は服薬、点眼薬、点鼻薬、吸引薬、塗薬などです。



✂-----きりとりせん-----

与薬依頼書 (預かり薬)

年 月 日

クアラルンプール日本人学校

幼稚部園長 殿

組 園児氏名

※必要なものは○で囲んでください。

依頼内容		
薬品名		
薬の種類	粉薬 ・ 座薬 ・ 錠剤 ・ 水薬 ・ その他 () 【 包, 個, ml, 錠, mg 】	
保管場所 方法	職員室	常温 ・ 冷蔵庫 ・ その他 ()
与薬が必要な時の状況 使用方法 ※細かく記入	与薬前の保護者への連絡 要 ・ 事後承認で可	
医師の署名		

医師の診察の結果、上記の指示が出ましたので、幼稚部での与薬をお願いします。なお、その責任は、保護者にあることに同意します。

保護者氏名

印

写真、ビデオ撮影について

本園は保護者に対して常に学校公開をしておりますが、校内での撮影は基本的に禁止としています。

授業参観も撮影禁止です。

ただし、園行事（入園式、親子遠足、運動会、ペスタスバン、卒園式、誕生会）については、撮影可としています。

それに当てはまらない場合は、その都度話し合い確認していますので、必ずご相談ください。

また、撮影された写真や動画は、ご家庭での鑑賞を目的とし、SNSなどのインターネットへの掲載は禁止していますのでご理解とご協力をお願いします。

※当てはまらない場合の例 終業式において園児代表に選ばれたので記念撮影をしたい・・・許可しています。

その他のお願い

退園時のプレゼント（記念品）配付の自粛について

本校では、退園・退学（園児・児童・生徒）により、転出先の住所等が書かれたカードとともに鉛筆やペンなどをプレゼントとして渡されることがよくありました。しかし、このプレゼント配付に関して、

- 在園児（園児・児童・生徒）が、退園児から必ずプレゼントをもらえるものという意識になっている。
- 保護者が、子どもの持ち物を把握できにくくなっている。（特に幼稚部、小学部低学年）
- 本来、一緒に過ごしてきた時間を振り返り、別れを惜しむべき時間が、贈り物を渡す時間になってしまう。
- 幼稚部への不要物、高額なものを持ち込むことは、トラブルの原因となる。
- 保護者の出費がかさむ。

という問題が出てきました。

そこで、退園児・児童・生徒からのプレゼント配付を自粛していただきたいと思います。

ただし、転出先の住所等が書かれたカードは、配付されても構いません。

ご理解とご協力をいただけますよう、お願いいたします。



兄、姉、友だちの忘れものについて

忘れ物の引き渡しは教育活動の妨げとなります。幼稚部園児が、兄、姉（小中学部）友だちの忘れものを預かり、渡すことはできません。ご理解とご協力をお願いいたします。

